

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2020 年 4 月分)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い開催を中止し、審議員による書類審議を実施。

[審 議 員] 青木真弥、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

審 議 事 項 : [審議番組] 文豪ストレイドッグス 声優朗読会

<番組概要>

実在の文豪をモデルとしたキャラクターが活躍する異能アクションバトル漫画を原作とし、若い女性を中心に熱狂的な人気を博している TV アニメーション「文豪ストレイドッグス」シリーズ。その劇場版となる『文豪ストレイドッグス DEAD APPLE』のベーシック初放送を記念し、人気キャラクターの声優陣が、自らの役のモデルとなった文豪の名著を朗読するオリジナル番組を、全 4 回にわたって制作・放送します。

審 議 内 容 : ■審議員意見

- ・人気声優陣による文豪の作品朗読は、文豪作品を読んでいない若いアニメファンにとっては新たな発見の機会となり、「文豪ストレイドッグス」本編に対する理解や興味も深まると思う。逆に文豪作品は読んだことがあるという世代の視聴者には、当世の人気漫画やアニメの傾向に刺激を受ける機会となるかもしれない。
- ・「文豪ストレイドッグス」に登場する文豪とその背景、その作品について知らなければ知らないほど、本編も番組も楽しめるのではないかと。本編や番組を通じて日本近代文学に興味を持ってもらうのは良いと思うが、そこでインプットされたイメージを正確な知識に書き換えていくことが出来るかどうかは気になるところである。
- ・アニメ「文豪ストレイドッグス」を知らないと、作中の役の声優がモデルとなった文豪の作品を朗読するという企画の価値が分からないことが残念。声優 2 名によるアフタートークはもっと幅広い話題で学びになる内容の方が良かったのではないかと。
- ・企画としてはアニメファン及び声優ファンが楽しめれば成功だと思うが、ファンのにはキャラクターの絵も好きなのではないかと思うので、声優が朗読する映像と同時に演じたキャラクターの絵を小説

の挿絵風にインサートするなどした方が、演出としてのメリハリもついて良かったと思う。

- 声優が朗読する姿を固定カメラで映すという作り方は、声優ファンに沿っており、この長さであれば集中して観ることが出来る。朗読だけだと単調な印象も否めないが、後半のアフタートークで声優の生のリアクションを楽しめ、「文豪ストレイドッグス」本編への興味が深まるどころが良かった。同作品のファン及び各声優のファンにぴたりとはまった番組だと思う。
- 「文豪ストレイドッグス」について詳しく知らないと、声優が文豪の作品を朗読する企画の意図が十分に伝わらず、アフタートークも楽しめなかった。今後、別の形で朗読番組を企画するなら、どんな作品を誰に読んでもらいたいかなど素材を吟味して欲しい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2020年7月16日（木）11：00開催予定。

以上